

令和5年度 エネルギー産業創出促進事業補助金
交付決定案件の概要

※事業者名 五十音順

計画名称	サーキュラー・エコノミーバッテリーの実用化開発とドローン搭載検証
事業者名（所在地）	株式会社アイ・エレクトロライト（吹田市）
計画の概要	<p>多種の海洋資源の高分子を取り入れ、極めて高い環境性の付与と、低抵抗を兼ね備えた新世代リチウムイオン電池（サーキュラー・エコノミーバッテリー）の実用化を目指す。</p> <p>昨年度までに、従来の電池セル量産機に対して海洋性高分子材料が搭載可能であることを実証した。またセル生産を試験的に行い、得られたセルのJIS認証試験を一部実施した。</p> <p>今回は残る試験項目を完了させ、認証の取得完了を目指す。またドローン搭載用バッテリーパックを製作し、実機搭載の検証を実施する。</p>

計画名称	水素ステーション機器向け高強度Oリングゴム材料の開発
事業者名（所在地）	高石工業株式会社（茨木市）
計画の概要	<p>水素ステーションでのトラブルの半数はシールに起因していると言われていいる。その原因は、今を以て追及できていないのが現状である。</p> <p>Oリングが破壊に至る要因は複数あるものの、最も影響を与えているのは87.5MPaという高圧力であることが近年の研究で明らかになってきた。</p> <p>本事業では、仕様とされる87.5MPaに長期耐久できる高強度Oリングゴム材料を開発することを目指す。</p>

計画名称	めっき技術を活用した軽量集電体の開発
事業者名（所在地）	帝国イオン株式会社（東大阪市）
計画の概要	<p>電気自動車（EV）用蓄電池では軽量化が重要な開発指針となっている。</p> <p>本事業では電池材料の中で集電体に着目し、従来の金属製集電体と同等の導電性を保持しながら、1/2以下の重量にまで軽量化した集電体を自社のめっき技術を基に開発する。</p> <p>めっき条件・熱処理条件などの製造条件の最適化、電池材料としての適正を確認したのち、実用電池に近い形状の積層型電池を試作し電池部材としての性能評価を行う。</p>